

## 10. 自由記述（主なご意見）

### (1) 男女共同参画全般について

- 今回のアンケートで初めて男女共同参画という言葉を知りました。現在の社会において男女の対等な地位が確立できているとはどうも言い難く、まだまだ不平等を感じる場所も多々あるように思います。今後、どのように国や地域が取り組むかによって私達のこれからの生活水準にも反映されてくるかと思しますので、今回の私達の回答を有効に活かしていただけたら嬉しいです。
- 共同参画のためには、人々の生活が経済的に豊かになり、時間的なゆとりが多くなることがまず大切です。
- 女性をもっと社会で活躍できる環境の整備を早急に整える必要があります。千葉県が全国の先陣をきって、モデルを構築して欲しいと思います。森田知事、頑張ってください。
- 今、100年に一度の不況と言われていますが、こういう時こそ地域の人たちが協力して助け合って共存していくことがとても大切な時代だと思います。制度や法律を改善していくと同時に、地域の人々が交流をもてる場、機会を増やしていくことが、より良い関係を築いて本当の意味で心豊かな人が増えるいいチャンスだと思っています。とてもいい時代が来たなと感じています。
- 結婚したくてもできない人が増えた。若者の中での格差拡大・負担増は意欲の低下。将来像が見えない。自信を喪失して結婚にも踏み切れない。経済的にも女性から相手にされないのでは？
- 男女平等で助け合う社会が理想。但し、女性と男性とでは、各々の出来る・出来ない分野があり、お互いを認め合う事が大切と思われる。
- 女性の地位が上がる事は結構な事ですが、その上にあぐらをかかない様に気をつけたいと思います。私個人としては、何につけても男女平等と声を上げるのはいかがなものかなと思います。職場や家庭の中で、納得出来ていればいいと思うからです。
- 男女共同参加の考え方はよいが、強制すべきではない。男女に関わらず自分らしさを出せる社会になればよいと思います。
- 私は70代の女性です。息子夫婦と孫2人と暮らしています。今の女性は考え方がまちがっているように思います。男は仕事をしていてあたりまえ、女は家で子供を見ている(1日中)だから家の事は一緒にという考え方です。私の年代では考えられません。
- 介護してくれる子どもはいるが子どもに負担をかけたくない。子ども達は自分の生活をするのに精一杯で親の面倒を見る余裕はないのではないかと思います。
- 在宅で介護を推進する社会の流れと働きざかりの人の正規雇用で社会進出する事との背中あわせの側面がみえると思います。特に、老人を介護している人達は、男性、女性に限らず、肉体的ばかりではなく精神的に疲労がたまりすりへっていく自分に気が付く間もなく、毎日を暮らしているのが現状だと思う。今後の高齢社会を思う時、デジタル化した頭をもう1度アナログ化にリセットして、思いやりやお互い様などのおいのある道徳のある社会が求められていると思う。そうする事によって子どもも養育しやすい男女の性を越えた社会となるのではないのでしょうか。

## (2)教育分野における男女共同参画について

- 最近男女共同参画についての各種認識が深まり、格別問題視すべき重要テーマが少なくなってきた感じがいたします。まだ十分とは思えませんが、この問題は家庭内における幼児教育からはじめ低学年における学校教育それ以降全ての成長期における意識づけが肝要と思料いたします。
- 性差ではなくこれからは個人の能力を見極め、共働きのあたり前になる時代では、すべて同等(子どもを生む事以外)であるべきだという教育と啓発が大切だと思います。まだまだ現実には女性の負担が多過ぎるから結婚しても子どもが増えないでしょう！時代が変化していることを直視すべきです。
- 異論をはさむ様ですが、もっと大切な事があるのではないのでしょうか？子ども達に対する教育を、親、地域、自治体と一緒に考えていく事が最も近道かと考えます。少々、焦点がズレていると思われるかもしれませんが、人としての基本的な倫理観や常識の欠如した大人が多すぎます。その辺をきちんとすれば必然的に男女共同参画社会は出来てくるような気がします。

## (3)雇用分野における男女共同参画について

- 女性があらゆる分野に社会進出するのに賛成ですが、能力があっても発揮しても実績が正当に評価されず、待遇・昇進等に男女の差別が見受けられる。
- 配偶者控除など、税金の関係であまり働けないパートタイマーなどの雇用をなくし、女性ももっと働いてかせげる社会になって欲しい。パートでももっと働きたい人が多いし、時間も余っている主婦だけがあまり働けない状況で差別があると思います。
- 賃金差別が大きな課題。
- 男性の考え方が変わらない、変えなければ参画はあり得ない。特に会社では、女性管理職となると、部下の男性社員が自分の能力のなさを棚にあげて行動することが見受けられる。
- 私は基本的には男女平等と思っており、実行しております。ただ仕事の内容、職種により、分けなければならない事などあり、それに対して差別と思ひ込む人たちがいるので、その人達も納得するような広報活動をしていただきたいと思います。
- 経済的に働く以外の時間が持てない。自営業ですが夫婦で働いて経済を保つことが第一です。男女問わず働けなく、ゆとりを持てる様な時代にして下さい。
- 女性の育児休暇中もしっかりと面倒を見てくれるのは大企業のみ。零細企業は、少しでも人件費を減らそうと必死です。私の会社では妊娠したら確実にクビです。大企業の人だけ制度を利用できればいいのでしょうか？もっと中小零細企業に目を向けた施策を期待します。
- ゆとりない今の時代、男女平等がともすれば男性並みに女性も勤務すべきととらえることのないようにしたいです。
- 働きすぎの日本の男性の働き方を緩和し、男性も家事や育児・介護に携わることのできる時間を保障してくれる社会となってほしい。そうなれば日本がもっと思いやりにあふれた心地良い国になると思います。実現のためにはワークシェアリング等も大切な要素となると思います。

- ワークシェアが必要！サービス残業反対！安定した収入、生活があつてこそ男女参加、少子化問題の解決が図れる。子ども手当反対！その分企業に手当すれば良いと思う。働きやすい職場づくりのための法整備を進めてください。期待しています。
- 職場環境の改善に尽きる。超過勤務が極めて多いため、子どもとの接点や自分への投資、さらに地域への活動など参加する余裕がない。労基署の監督をもっとやってほしい。公務に対しても、やってほしい。
- 大学院修士を卒業して、独立行政法人で働いています。子どもが2人いますが仕事を続けてきました。ただ、現実的には両立しにくく、昇進には女性差別もあり、親の助けがなければ仕事を続けられないような状況です。社会全体でもっと実効的な政策が必要だと思えます。ニーズにあわせて認可保育園をふやす、公的な職業については、女性の比率を目標値と達成すべき年度を設定してポジティブアクションを実地し、30%以上に増やすべきです。また、官庁、団体、企業は子育てを両立できやすい働き方を子どもが中学生になる前まで、法律、条例で制度として取り入れることを義務化すべきだと思います。短時間勤務、在宅勤務をもっと行うべきです。そうでなければ結局女性は仕事をやめることになり、条件の悪いパートで働かざるをえないし、職場での男女共同参画はいつまでたっても進まない。日本の男女共同参画は先進国といえない超低レベル。私は今まで仕事を何とか続けていましたが、それでも下の子が小学校に上がったなら、仕事を続けるのはむずかしい状況です。辞めざるをえません。小学生以上には、何の育児支援も職場でされないからです。今の法律の内容では不十分です。千葉県先進的な取組みを期待します。

#### (4) 子育て・家庭生活について

- 女性側の体制(育休の充実、とりやすさ)が整っていても、男性側の体制が整わないのなら負担は女性にかかる。女性だって仕事をしたい、でも子育てもしたい。そんなジレンマに日々悩まされています。
- 都道府県にも地域差があり、東京と千葉においてもかなりの差が見られる。家庭において子育てをしながら夫婦で働き続けることは困難が伴うが、男性側において意識改革が必要と痛感している。また男性側に男女共同参画社会について理解・協力し、支え合う・助け合う意識の低さをも痛感している。なお本県意識調査の結果、分析についてまとめられた報告書の配布がなされることを切望します。
- 男女平等とは言ってもやはり男と女は体力的にも他の様々な面でも違いがあるので、何でも平等というのは無理だと思ふ。また個人でも様々な考え方があるので、男女で分けて考えるべきでないこともあると思う。(職業など)ただ子育てに関しては父親と母親で役割があり、それは誰かが代わってあげられることではないということを強く思います。男女平等ということより、困っている人がいたら手を差し伸べてあげられるような社会にすること、自分に関係ないという思いの少ない社会にすることが大切なのではないかと思いました。
- 自身の持てる力があるならば、社会で多いに発揮してよいと思うが、子どもがいるならば、子どもの育児を第一に優先すべきと思う。幼児期の発達に、親、家族の愛情がとても大切だと思う。人まかせに子育てをする姿勢は賛成しません。
- 離婚をする場合、女性は不利だと本当に感じます。なんだかんだ言っても、男が優位に立っている社会だと常々感じます。

- 仕事、地域活動、社会貢献・・・等に参画する障壁の1つが子育てである。お金も労力もかかる。まずこの負担を減らすような政策が必要。基本的な教育費の無償化や保育施設、運用の整備は絶対必要。少子化対策にもなるだろう。子どものいない社会はいずれ滅びると思う。早急な対策がますます必要。
- 働く女性が子育てしやすい環境を作っていただけるようお願い致します。昔は、子どもはほっておいても育つ時代だったかもしれませんが、現在は違います。交通事故や性的犯罪に巻き込まれる等、子どもの周囲は危険がいっぱいです。そのため休日とはいえ、子どもから目をはなすことができない状況で、母親たちは家事と育児と仕事で疲労しています。また、外で遊んでいる子ども達も少ないため子どもの成長のため必要な「徒党を組んで遊ぶ」など、そういうこともできなくなっています。子どもの精神的教育、環境を整えるため、習い事等をしてお友達と遊ぶ機会を作ったり、事前に母親同士で約束してからでないと遊べないなど、母親の負担は多いです。  
子どもは国家の宝です。上手に精神的に子どもが発達できる社会環境を整えてほしいと思います。今、きちんと考えないと20年後、30年後の日本は大変なことになると思います。(ネグレクトも多いと思いますよ・・・)
- 女性は子どもがまだ小さかったりすると、仕事をするのは正直大変。家事もあるし。それを男性に「お前も働け」とか「家事ができてない」など、自分がやってもいないのに言われると腹が立つ。「そういう男性がいなくなればいいのに…」と思うが、夢のまた夢では・・・。また、少子化は、不妊等で子どもが授かりにくい人もいるだろうし、すごくデリケートな問題だと思う。